

森のおくりもの11月



ウスタビガ（ヤママユガ科）



高い山から雪の便りも聞かれるようになって来ました。太白山のふもとにも冬鳥たちが次々と渡ってきています。自然観察の森の紅葉は今月の中旬が見ごろになるでしょう。奥山のような赤や黄といった派手な色は少ないのですが、コナラを中心とした雑木林の紅葉はやさしい色合いが楽しめます。晴れた日もいいですが、曇りの日の紅葉も素敵です。【写真・文 早坂 徹】

# みんなにかこまれる幸せ 混群の鳥たち



冬に近づくとつれて、だんだんと鳥の姿が見やすくなってきました。森を歩いていると、ジュリリ、ジュリリ、チチュリリ、ジュクジュク、ニニニ、などいろいろな鳴き声と共にたくさんの小鳥に囲まれる機会が増してきました。「混群」といって、期間限定で種類の異なる鳥たちが一緒に行動しているのです。少し寂しくなった冬の森を束の間にぎやかにしてくれて、幸せな気分になります。

混群に出会ったら、どんな小鳥が木のどの辺りにいて、何をしているのか、少し立ち止まって観察してみるのも楽しいですよ。

**混群のようす**

- キクイタダキ**  
針葉樹の枝先でハリングしてエサを探っている。
- エナガ**  
イタヤカエデの樹液を飲んでたこともあるよ。
- 時々、混群に混じる**メジロ**
- ギー、ギーと鳴きながら、幹を忍者のようにスルスル登っていくコゲラ**
- エナガは**見ている人の近くの木にとまってくれることがある。
- シジュウカラ**  
地面において、落ち葉をめくって、虫を探します。
- 松ぼっくりにとまって、実をついばむヤマガラ**

## 他にもこんな鳥が混ざります

**コガラ**



枝にしがみついて樹皮をむしりとるよ

**ヒガラ**



10/29の時点では、ヒガラはまだ混群には加わっておらず、混群と少し離れた所のスギ林にいました。

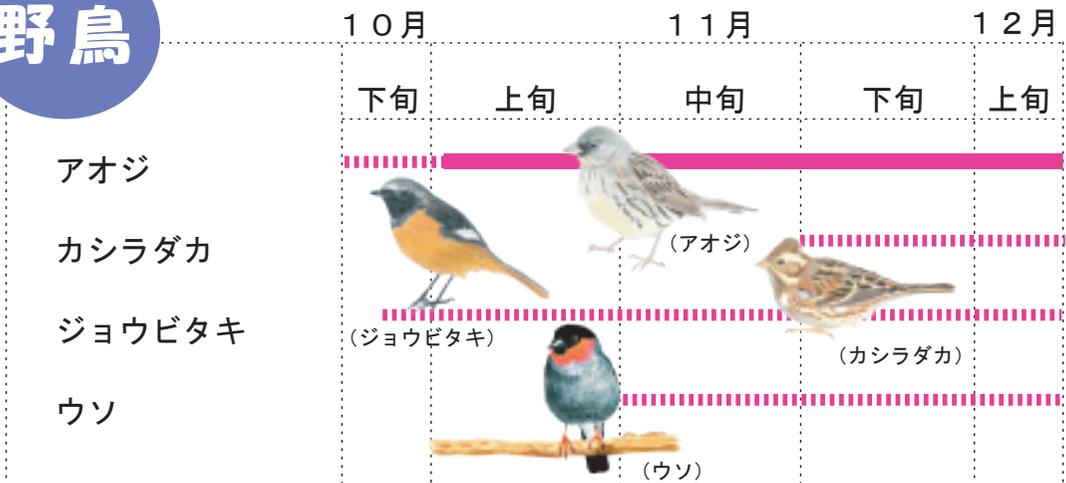
【レンジャー：黒川周子】

\* 混群はいつもこの種類がいるとは決まっていません。どんなメンバーがいるのか確かめてみてくださいね。

# 11月の生物ごよみ

冬鳥の一番手としてやってくるジョウビタキは10月20日にセンター周辺で確認できました。冬鳥たちもこれから続々とやってくることでしよう。

## 野鳥



このシーズンは実りの時期でもあるのですが、今年もドングリは昨年延续了不作のようです。豊作の時は森を歩けばボリボリと踏みつけてしまうほどたくさん落ちているのですが、今年はまったくと言うほど落ちていません。ドングリの実りは不定期で、今年が不作だから来年が豊作ということもありません。太白山で豊作だったのは2年前でした。来年こそはたくさんのドングリが実ってもらいたいと願っています。

それと3年ほど前から森を歩くとコナラの木などの下にたくさんの木くずが見られるようになりました。よく見ると2mmぐらいの小さな穴がたくさん開いていて虫に食われている状態です。これは最近皆さんがよく耳にする『ナラ枯れ』の前兆で、カシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」）が開けた穴なのです。『ナラ枯れ』とはナラ・シイ・カシなどのブナ科の樹木が枯れる森林被害です。枯れる原因は病原菌のまん延によるもので、その病原菌を媒介するのが「カシナガ」なのです。幸いまだ自然観察の森では『ナラ枯れ』は確認されていませんが、周辺の山々では緑の森に点々と枯れて茶色くなった木々が目立っています。この森でも昨年と比べ「カシナガ」に穿入（マスアタック）されている木が確実に増えています。しかし、カシナガに被害を受けているからといって被害木をすぐ切ってしまうことは逆に助長させる原因にもなるのです。食い止める方法も模索中で方針も決まらず、ただ変わりつつある森を見守るしかできない自分に、とてもジレンマを感じます。

【レンジャー：齋 正宏】



## レンジャーの森の雑記帳



仙台では、例年11月になると泉ヶ岳が雪の白い帽子をかぶり、やがて市内でも初雪が舞い始めます。真冬のようなキンツとした冷気はまだ感じませんが、それでも寒さが苦手な私にとって厚着の季節になりました。園内の森を歩いていると、枯葉が地面に落ちてしまった分、木々を覆っていた葉が消えて空がきれいに見えるようになり、時季によっては思わぬ場所で太白山が望めたりもします。風に吹かれてカエデの種が螺旋らせんのような曲線を描いて落ちたり、まるで鳥の羽毛のような柔らかな綿毛を持ったアザミの種子が、透明感を持った秋の陽射しの中で揺れて緩やかに飛んでいきます。木漏れ日が園路に繊細な光と影を与えてまだら模様を写し、カサカサと乾いた落ち葉の音が森の囁き声ささやのように聴こえたりもします。冬の訪れを肌で感じるのもちょうどこの頃かもしれません。寒さが厳しくなってくると人は温もりを感じやすくなります。それは冷え切った朝に飲んだ、一杯のコーヒーやお茶の湯気だったり、暖房の効いた自分の部屋でくつろいだ時のホッとした気持ちだったり、人それぞれに暖かさから平穏を感じるようになるのかもしれませんが。森の生物たちは、降り積もった枯葉の上で、あるものは深い眠りについて、あるものは遠い春を思いそれぞれに過ごしているのでしょうか？



秋は一種の寂寥感せきりょうが感じられますが、季節は足早に移り変わり歳を重ねていきます。晩秋の雰囲気<sup>せきりょう</sup>を十分に味わいながら、本格的な冬の到来を太白山自然観察の森で迎えたいと思っています。

【レンジャー：阿部正明】



# 世界に誇れる紅葉樹

ニシキギ

# 錦木

観察の森の紅葉は、10月頃のヤマザクラが一番手、そしてウルシやヌルデと続き、11月になるといよいよニシキギの登場です。

ニシキギ（錦木）の紅葉はその名のとおり「錦」からイメージするハツとするような美しさです。その美しさは世界的にも認められており「**世界三大紅葉樹**」と言われています。色彩的には赤なのですが、ウルシの赤でもカエデの赤でもなく、日本の伝統色に例えると「**韓紅花（からくれなゐ）**」、鮮やかで力強く何処か柔らかな優しさも感じます。

観察の森では、ヤマツツジの丘西側の林床内、はおとの道の入り口付近の広場の生垣でニシキギを觀賞できます。ニシキギの紅葉の魅力を是非堪能下さい。

- ・落葉低木
- ・北海道から九州に分布
- ・枝にコルク質の翼がある
- ・葉は対生し、葉身は楕円形または倒卵形 縁は鋭鋸齒
- ・花は両性花 5～6月頃咲き、淡緑色
- ・果実は蒴果 10月～11月頃熟して裂開する
- ・庭木や公園樹として人気

## 翼

矢筈（やはず）に例えられヤハズニシキギという別名も



## 花

四弁の花 目立たない



## 果実

鳥が食べ、赤い仮種皮を消化吸収し種子を糞として排泄（種子散布）



## 虫

8月～9月頃キバラヘリカメムシの幼虫が集団生活をしている

## 成虫



## 幼虫



### ●葉が赤くなる理由●

晩秋になると葉から茎への物質移動が妨げられようになり、葉の組織内に溜まった糖分が**アントシアン**という**紅色の色素に変化**します。同時に葉緑素は分解され、葉が赤く色づきます。



錦木 なるほど memo

【レンジャー：遠藤和子】

# 11月

## のイベント & お知らせ



### ◆森で遊ぼう！『ちいさな野草教室』

・未就学児向けの草花遊びを中心とした自然観察会です。

【日 時】平成28年11月12日（土）10：00～11：30

【定 員】15名（未就学児とその保護者）

【持ち物】歩きやすい服装、雨具

【申込み】11月6日（日）9：00～電話で〔先着〕



### ◆「鉤取山ネイチャーウォーキング」

・紅葉の鉤取山を、講師のお話を聞きながらゆっくり歩きます。

【日 時】平成28年11月19日（土）10：00～15：00

【定 員】20名

【持ち物】歩きやすい服装と靴、昼食、飲み物、敷物、雨具（カッパ）

【申込み】11月8日（火）9：00～電話で〔先着〕



### ◆「館長と森を歩こう」

・館長と一緒に秋深まる森を歩き、  
いろいろな動植物と触れ合います。

【日 時】平成28年11月27日（日）10：00～11：30

【持ち物】歩きやすい服装、雨具

【申込み】不要（開始時刻までに観察センター前にお越しください。）



毎週  
日曜は

### 『ガイドウォーク』の日！

11月の開催日は 6日、13日、  
20日、27日です。

開催時間：午前 10:00～11:30  
午後 13:30～15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や  
原稿を募集  
しています。

里山や自然に関するものを  
描いて(書いて)ね！  
レンジャーからのプレゼント  
があるよっ！



11月の休館日

7日、14日、21日、  
28日

### ♪森へおいでください♪



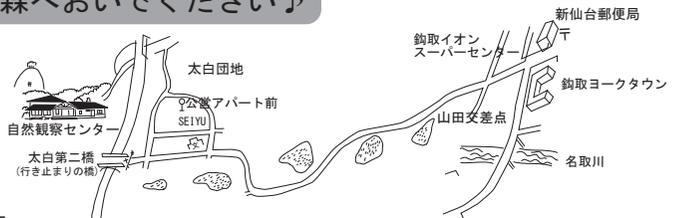
#### 宮城交通バスの場合

- ・仙台駅前バスプール7番または、長町前から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター
- ・仙台市地下鉄八木山動物園駅から日本平行き  
に乗りひより台入口で下車、徒歩25分でセンター



#### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
バックナンバーはWebでチェック！

2016年11月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL：022-244-6115 FAX：022-244-6133

E-mail：taihakusan\_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>